

炊き出しボランティア通信 vol58

2012, 3月

炊きだし 3月10日(土) 9:00 元寺小路教会に集合・準備。12:00 炊き出し

雪から雨。お出でになった方37名。女性0。会長「炊き出しに先立って皆で3.11のお祈りを一緒にできてよかった。仙台市には今のところ50人ほどのホームレスがおり、その7～8割は県外からの方。全体の数が減った理由についてはまだ分かっていない。」ということでした。



○炊き出しボランティアに参加するのは今回で2回目だったんですが、やっぱり2回目ということもあり、何をしたらよいのかを考えて行動することができたので良かったです。ボランティアは私たちの他にもS学園高校の人たちや大学生の人などたくさんいて楽しくできました。次回もこの調子で頑張りたいです。(1年)



○今回が初めての炊き出しボランティア参加でしたが、みんなと協力しながら楽しく活動できたのでよかったと思います。反省点は、もう少し積極的に働けばよかったなと思いました。次回はそうしたいと思います。（1年）



献品： 小学校から今回もたくさんの献品を預かりました。ありがとうございました。

夜回り 3月7日(水)20:15～21:15

会議が18時半まで。急ぎ帰宅して軽食とり、短時間の仮眠後、出かける。いつも準備が終わっていて申し訳ないと思いながらも、仕事から直でいくと心身がもたないこと経験済みなので、正平教の人たちに甘えさせて頂いている。従って出向くとすぐに出発。今夜は一人。相方に気兼ね不要のマイペース。

国際センター裏ベンチ。周囲は溶けているのにここだけ一面雪が敷き詰めた絨毯のよう。さむい。コ

ンバンワー。セット品をおいて行きまーす。お気を付けて。ビニールシートを体に巻き付けてその上からひもでまいている。まるで『人間荷物』の梱包のよう。靴はきちんと並べてあった。

センター表の公園ベンチも、前が一面雪で覆われていた。自転車がとめてある。声をかけるとおじさんがむっくり起きあがった。みそスープを1杯つくり、1杯は手渡し、1杯はベンチに。「熱いですからね」

大橋下のKuさん。「復活」後もいわば順調にお宝の荷物が増殖していた。お巡りさんも大変だろうと、少し同情した。とりあえずは元気が何より。ただ残念なことに、本人不在だった。寝袋が生きものののように荷物の上を占めている。それに向かってしつこく呼びかけたが、中が空なのがわかったので、セット品を置いて引き返した。

帰りに西公園を通る。空になった陸橋下を見ると、それが当たり前に思えて、よかったとも思った。

前に寄った障害者トイレが気がかりになって、車を止めた。コンコンとすると、すぐにハイ、と返ってきた。だいじょうぶですか？—ハイ。入り用なものはありませんか？……。お気を付けて。—ハイ。戸は開かない。真っ暗な中で、ジッとしているのが想像された。また寄ってみよう。

文責 高橋 寛

萌友炊きだし 3月17日(土) 10:00 福祉プラザ9階調理室に集合・準備。12:00 炊き出し

雨。37名。女性0。Hさんが理事長をしているNPO法人萌友からボランティア参加の要請あって、2名だけになったが急きょ参加した。9階で準備し、10階のホールで食事会をする。先週の五橋公園炊き出しでは雨のために衣類提供ができなかったのを、この日にホールの中でおこなった。外は雨だったが、ここだと濡れる心配はない。東京からビックイシュー日本編集局員二名がやってきていて、さかんに取材をしていたが、10階ホールでの写真撮影は控えていた。外の開放感の中とは違って、中での食事のところはさすがに遠慮して撮らないようだった。料理の達人Hさんの本日メインデッシュは、通称ごった煮だそうで仙台の郷土料理ということだった。おいしかった。



うまくできていると思いま〜す



頑張った人

- 今回の急に入ったボランティアだったけど、スタッフの人たちにやさしく分かりやすく教えてもらったので、なんの問題もなくやりとげることができました。次はもっとテキパキとできるようにします。(1年)
- 今日は二人だけだったから、いろいろと大変でした。でもいつもよりよかったです。それに中でやったのでハトにびびんないでできました。次回はもっと手伝いができるようにしたいです。(1年)



終了後。福祉プラザのショウコ写真ですよ。